



土留部材引抜同時充填工法

NETIS:SK-080012-VR

近接工事や堤防において鋼矢板等を安心して引き抜けるオンリーワン技術！
軟弱地盤や堤防において仮設材にて土留めを行う場合には、土留め杭引抜後の影響
が大きいため、本工法は非常に有効な技術です。
従来、鋼矢板残置を前提としていた民家や地下埋設物などに近接した工事において、
コスト削減と事業損失防止に役立ちます。水中での施工も可能な工法です。
尚、鋼矢板引抜きと同時に充填すること、1本の充填管で複数項の鋼矢板を引抜く
ことは、この工法以外で行うと特許に抵触します。



施工実績 (2018年6月末)

施工実績合計	184件
(H30年6月末時点)	
国交省	44件
農水省	22件
自治体	81件
電力会社 など民間	37件

担当者 渡辺

Tel 090-7575-6025 Fax 022-797-7918

充填材が引抜跡に入っていくイメージ

